

2025

— 初
夏
号

m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

手にするたび、自然とつながる。





上左／舟寄さんの元上司が手がけたお香立て。煙突から煙が出る仕組み。上右／木の種類によって音色が異なる木製のスマホスタンド。中／オリジナル商品「富山の帽子」のキャップ。立山くまろうや剋岳など、富山にちなんだ刺繍が可愛い。下／優れた耐久性・耐摩耗性・耐水性を持つビニロン素材を用いた「フェールラーベン」の「Kanken」バッグ。



「結婚祝いに舟寄さんからいただいた「tennen」の洋服の着心地が良すぎて着まくっています」と池田。

あのひと
の暮らし

「ワクワク」を、
育てる、届ける。

舟寄 文生

中新川郡立山町／Cryptomeria japonica
(クリプトメリア ジャポニカ)

訪ねた人：池田 りほ

木の香 株式会社 前川建築 広報

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちを紹介するこのコーナー。第9回は立山町でアウトドア用品・雑貨の小売業と卸売業を展開する「Cryptomeria japonica（クリプトメリアジャポニカ）」のオーナー・舟寄文生さんを、前川建築の広報を務める池田りほが訪ねました。

「なるべく環境に優しいもの、天然素材を使用しているもの、そして他店ではあまり扱っていないものを基準に、商品を選んでいるんですよ」とこやかに話す舟寄さん。その言葉どおり、店内には、ワックスを塗って手入れをしながら経年変化を楽しめる「FJALLRAVEN」のアウトドアウェアや、「トミ」にならず土に還る「tennen」の洋服、県産材の生命力と温もりを生か

した木製品など、舟寄さんのこだわりを感じさせる多彩なアイテムが所狭しと並んでいる。

屋外の広い敷地内では、テントの設営や、アウトドアグッズの使用体験が無料で行えることも特徴。他店で購入したグッズでもOKと、太っ腹だ。この敷地はいろいろな形で使われており、来たる5月31日・6月1日には、「クリプトメリアMarket」というイベントが開催される。アウトドアグッズの相談や買い物、グルメなど、楽しい2日間になりそうだ。

確かな目と柔軟な発想で多くの人たちに「ワクワク」を届けている舟寄さんが、アウトドアの魅力に目覚めたのは、東京で暮らしていた26歳の時。休日にはテント泊やカヌーなどをして楽しみ、28歳の頃にはアウトドア用品を扱う商社に入った。そこでは20年ほど勤めたが、家庭の事情で富山へのUターンを決意。引き続き好きな自然や林業について学ぶために森林組合に



上／2024年5月に開催された「クリプトメリア Market2024」では、商品の仕入れ先である各メーカーのお店が並び、B級品やサンプル品などを特別価格で販売するほか、アウトドアグッズのメンテナンス方法などの相談会も実施。その他にもキッチンカーや飲食店などが出店し、多くの人出で賑わった。下／毎年夏には、朝早くに野菜の無人販売の準備を行う。その後、観光名所やスポーツ店、雑貨屋、などの取引先を訪問し、12時からお店をオープンしている。



Cryptomeria japonica (クリプトメリア ジャポニカ)

〒930-0253 富山県中新川郡立山町大窪開23
https://www.instagram.com/cryptomeria_japonica2021/
 Tel: 076-482-6508
 営業時間／12:00～18:00
 定休日／月曜日・火曜日
 駐車場／8台

入れをして長く使っていくという考え方は、前川建築との共通点だ。だからこそ、池田は、「舟寄さんとは、お仕事でも一緒にできたらいいな。今、取り組んでいる『SUNTOPプロジェクト』では、庭でテントや焚き火を楽しめる暮らしを目指しているの、アドバイスをいただけたら嬉しいですよ」と思いを伝える。それに対し、舟寄さんは「面白い人たちがたくさんいて、景色がとても美しい立山町と一緒に盛り上げていきたいですね」と笑顔で応える。

約4年前に開店準備をしてい

入組した。そこで家具作家の方と出会ったのが、転機となる。県産材を用いたオーダーメイド家具の製作・販売をしようと、同組合を脱退し独立。経営を安定させるために始めたアウトドア商品の卸売業が順調に成長していたが、コロナ禍という逆風を受けることに。卸先である観光名所では観光客が激減し、返品が相次ぐ日々。それらを保管する倉庫を探す中で、現在の土地と建物に出会い、販売チャネルを増やそうと小売業に着目したのが、今の業態になった経緯だ。



左／世界最高クラスのアウトドア生地素材と言われる「G-1000」で作られた「FJALLRAVEN」のアウトドアウェア。自分で手入れをすれば、どんどん深い味わいを増していくのも魅力だ。右／池田が初めて挑戦したチェーンソーアート。今ではお店のマスコットになっている。

「小売業は、面白いですよ。お客さんと直接話せることが新鮮ですね。お店の営業時間外や定休日にも働いていますが、嫌なストレスがありません」と微笑む。舟寄さんのエネルギー源となっている顧客のひとりが、池田だ。オープン間もない頃に立ち寄った彼女は当時、林業関係の仕事に就いていたこともあり、木製品に釘付けになった。登山やキ

舟寄 文生

Funasaki Fumio

富山市出身。クリプトメリアジャポニカのオーナー。高校卒業後、東京の専門学校へ進学。企画会社や専門商社などを経て、富山へリターン。森林組合で約5年働いた後、独立。2021年11月にクリプトメリアジャポニカをオープンした。



居るだけでワクワクしてくる店内。アウトドアはもちろんのこと、普段の暮らしにもさりげなく取り入れられるアイテムが満載。



5 May

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6 June

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7 July

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13 sun-kyoオープン	14	15	16	17	18	19 niwanoso7周年 (19〜21日)
20	21 海の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 August

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 山の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



季節によって最も心地いい場所が移り変わるH様邸。春と秋は、広々としたウッドデッキが最高に心地いい場所になる。家族でのランチや、ご両親を招いてのバーベキューなど、楽しい時間を過ごした。そして、夏には畑が活躍する。お隣さんの畑の一角をお借りし、ご主人がピーマンやキュウリなどの夏野菜を育てた。家族みんなで収穫し、奥様がそれを使って料理を作り、家族みんなで味わうという、笑顔に満ちた循環が生まれたそう。以前は休日以外食することが多かったそうだが、今は家で豪華な手料理を味わう日が増えたという。ご主人は出勤前に庭仕事などが増え、以前より多忙になったが、それが日々の張り合いになっている。「下の子が3歳になるので、これからは家族みんなで庭や畑など外で遊びたいですね」と微笑む奥様。豊かな自然は、豊かな暮らしを創造する力になるのかもしれない。

ご主人の1日は、コーヒー豆を挽き、ご夫婦分のコーヒーを淹れることから始まる。休日は、そのまま家族でゆったりと寛ぐことが多い。リビングに置かれたソファとラグの上がみんなのお気に入りの場所だ。
穏やかな空気が流れるH様邸は、中古物件を「コノカ」でリノベーションした住まいである。ご主人が長く探し続けて、ようやく見つけたロケーションのいい場所。そこに家族みんなで自然を感じながら暮らせるよう、間取りを大きく変えて家を蘇らせた。「家がすでにあるので、これからの暮らしをイメージしやすく、基礎や構造などを活用できればコストを抑えられます」とリノベーションの魅力を語る。
室内とウッドデッキからは、海と山の両方が見える。「山から太陽が昇り、海に沈んでいく。そのすべての流れが見えるんですよ」と微笑むご主人。奥様はここに住んでから、毎日山の景色を眺めるようになったという。

1.リビングでゆったり寛ぐHさんご家族。この写真の手前には、ウッドデッキに直接出入りできる大きな窓がある。2.ウッドデッキからの雄大な眺め。「美しい景色には慣れましたが、それでも圧倒的に美しい夕陽や朝焼けなど、1日の中の自然の変化には今もときめきます」と微笑むご主人。奥様も「冬場には、雪の上に動物の足跡が見えるのも面白いです」と笑顔。ここは洗濯物を干す場所としても大活躍している。3.吹き抜けがあるため、家族がどこにいても気配を感じられるのも魅力。4.毎朝、コーヒーを淹れるのはご主人の日課。5.急勾配の屋根が印象的なH様邸。外にはご主人が芝を張った庭もある。



tips:4

前の住人の方から譲り受けた薪ストーブ。煙突も既存のものを活用して、寒い冬も快適に。



tips:3

奥様の好きなチェッカーガラスが嵌め込まれた建具は、建具屋さんにオーダーしたもの。



tips:2

以前の住まいから愛用しているソファに、新調したラグが調和し、ゆったり寛げる雰囲気。



tips:1

シンプルな空間に映える絵画。「華やかさをプラスできるかなと思って」と微笑む奥様。

あ の 家 の 住 ま い 方

魚津市・H様邸

2021年リノベーション



ウッドデッキ

前川建築(niwanoso)で施工したウッドデッキはほぼ3種類その素材によってお手入れ方法が異なります。

◆セランガンバツの場合

基本的にお手入れは不要ですが、使っているうちにささくれが出てきます。気になる場合はサンドペーパーで薄く削ります。



◆ヒノキ+塗装(キシラデコール)の場合

汚れが著しくなったり、退色が激しくなった時がメンテナンスのタイミング。サンドペーパーで古い塗膜を取り除き、塗装します。キシラデコールには水性と油性がありますが、油性をお使いください。



◆杉を熱処理した耐久木材の場合

基本的にお手入れ不要です。



ご自身でのお手入れの方法をご紹介しましたが、ご自宅のウッドデッキが何かわからなかったり、難しいと思われる場合や破損がある場合などはお気軽にご相談ください。

i n f o r m a t i o n



参加
無料

sun-kyo立山利田完成です！ オープニングイベント開催 7/13日

昨年からお案内しているsun-kyoプロジェクトがいよいよ完成します。7月13日(日)にはオープニングイベントを開催。sun-kyo立山利田での暮らしの体験やワークショップ、美味しいフードの出店など楽しいイベントを企画しておりますので、ぜひご来場ください。

イベント詳細
随時更新



niwanoso 7th anniversary イベント開催

7/19(土)・20(日)・21(月祝)

今年でniwanosoは7周年を迎えます。日頃の感謝を込めて、7月19日(土)・20日(日)・21日(月祝)の3日間anniversaryイベントを開催。3日間ともにドリンクサービスや年に一度の店内商品ほぼ全て20%オフセール、お買い上げ金額に応じた記念ノベルティをプレゼント。最終日21日はワークショップもあり楽しい一日となりそうです。

詳細はInstagram (@niwanoso) にて投稿いたしますので、ぜひチェックしていただき当日をお楽しみに！



Instagram



スタッフ紹介

MAKEAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

Ryo Kato 加藤 涼

● コノカ 工務

日々の暮らしの中では、仕事だけでなく、家事をしつかり行うことを大切にしています。その後にコーヒーをゆっくり味わう時間は最高。5年ほど前までは苦手な飲み物でしたが、カフェでのバイトでその奥深さや美味しさに気が付き、好きになりました。もうひとつ好きなものは、会社帰りに見る田園風景と調和した夕焼け。空き家が増える中、リノベーションを通して、少しでも地域のお役に立てたらと考えています。そのためにも、耐震・断熱性・快適性を意識したリフォーム技術の習得に注力していきたいです。



お気に入り

コーヒー器具。使用する器具や淹れ方で風味が違ってくるのが、コーヒーの面白いところ。私は、ペーパーフィルターでドリップするのが好みます。

家事の後に
自分で淹れる
コーヒーは格別。



Motoko Kawagishi 河岸 素子

● 広報

新築住宅のおひろめ会等のイベント企画や、WEBサイトやSNSの管理運営、竣工写真撮影などの業務に携わっています。仕事はとても好きですが、全く別のことに没頭する時間も大切にしています。そのひとつが、ドラムとカホンをメインとする音楽活動。ドラムは小学生の頃からやっていて、すっかりライフワークとなっており、音楽のない人生は考えられません。もうひとつは、犬の散歩。コロナ禍に飼いだした柴犬は、気分が乗った時しか近寄ってきませんが、そんなところがたまりません。無理やり追い掛け回しています(笑)。



お気に入り

ペルー発祥の打楽器カホン。木の箱ですがそれぞれの音に個性があり、今使っているお気に入り3代目。叩き方によっていろいろな音を出せるのが魅力です。

仕事と音楽、
そして愛犬が、
日々のチカラ。



編集後記

sun-kyoの完成も近づき、新緑も美しく、なんだかワクワクする季節になってきました。巻頭特集で紹介されている立山町のアウトドアショップ『Cryptomeria japonica(クリプトメリアジャポニカ)』さんには、思わず外に出たくなるようなグッズが盛沢山なので、ぜひ足を運んでみてくださいね。私の彫ったおとぼけ顔のクマ1号にも会えるはずです。



m a e n o h a 2025 初夏号

2025年5月1日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／広報部

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／ワークス

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel : 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：クリプトメリアジャポニカ店内に並ぶ、レトロな雰囲気ランタン